

実施計画（R2）の概要

I 計画の概要

第6次鹿角市総合計画の基本構想に掲げたまちづくりの将来像「笑顔がつながり活力を生むまち・鹿角」を実現するため、後期基本計画で定める8つの重点プロジェクト及び基本構想で定める5つの基本目標に沿った36の施策について、後期基本計画の最終年度となる令和2年度に具体的に取り組む事業をまとめた。

令和2年度は、総合計画で設定した人口目標と各施策の目標を達成すべき「総仕上げ」の年であることを強く意識し、最重要課題である産業力の強化を中心に取り組みを拡充するとともに、市民生活の安全安心面を強化する。また、令和3年度からスタートする第7次総合計画への助走期間として、将来を見据えて今から取り組むべき新たな事業も追加している。

なお、実施計画の期間は令和2年度の単年度であり、令和3年度以降については、参考として掲載しているものである。

II 重点プロジェクトの推進

将来都市像の実現に向けて、後期基本計画で戦略的かつ重点的に取り組む8つのプロジェクトを積極的に推進する。

1 産業力強化プロジェクト

<農業>

- 農作業の効率化やコスト縮減、規模拡大、生産性の向上等を実現するための鹿角地域に適した「スマート農業」の導入に向けた実証事業等に取り組む。
- 末広地区のほ場整備を契機に設立された集落営農型法人によるネギを核とした園芸メガ団地を推進し、大規模経営による販売重視型農業の先進的な取り組みを前進させる。
- 鹿角マルシェによる地元産こだわり野菜などの販売体制の構築に向け、引き続き集出荷システムの運営のほか、農産加工品やレストランメニューの開発を支援する。

<製造業>

- 付加価値の高いメイドイン鹿角の最終製品を生み出すことを目的に、引き続き地域内連携による発電施設用高効率モーターの開発を進める。また、県内における輸送機械関連の集積動向を踏まえ、東海地区企業に精通した産業コーディネーターを配置し、新たな商取引の拡大を目

指す。

- SNSを活用した市内企業の求人情報の発信や、就職希望者からの照会対応などが実施できるシステムを構築し、市内外に向けた双方向型の就職支援を強化する。
- 女性や若者へのテレワーク普及やインターネットビジネスの拡大を図るため、まちなかオフィスのインキュベーションフロアに無線LAN環境によるコワーキングスペースを整備する。

<観光業>

- さらなる観光誘客やインバウンドの受け入れ態勢を強化するため、(株)かづの観光物産公社へ観光プロモーションやセールスを主導する人員の配置継続や、世界級の文化遺産を活用した着地型旅行商品の企画造成及び情報発信等を行うコーディネーターを新たに配置するほか、JNTO（日本政府観光局）への参画を通じて、効果的な海外プロモーションを展開する。
- 国立公園八幡平エリアの広域的な活用により、将来的なインバウンド等の観光誘客を大きく増加させることを目的に、関係者による検討委員会を設立するとともに、魅力を最大限に引き出すための基本構想を策定する。
- 近年、八幡平山頂の観光スポットとして大きな注目を集めている「ドラゴンアイ」への観光アクセスを確保するため、5月下旬からの一定期間において観光路線バス「八郎太郎号」の増便（平日運行）を実施する。

<エネルギー>

- 地域電力小売会社「(株)かづのパワー」による公共施設への電力供給を開始し、電力の地産地消の仕組みをスタートさせるとともに、本市の再生可能エネルギーを活用した今後の地域活性化の具体的な方向性をまとめる次期エネルギービジョンを策定する。

2 移住・交流推進プロジェクト

- 首都圏への人口一極集中を是正するとともに、地方の産業人材不足を同時に改善するため、移住しごと支援補助の対象となる東京23区等からの移住者の居住要件を緩和するほか、地元企業との連携を強化した体験ツアーを開催する。
- 人口構造の若返りにも寄与する移住者層の獲得を目的に、新たに「子育てママ応援ツアー」として、東京での相談会や本市での見学ツアーを行うほか、関係機関とも連携した地元企業への就業を促進する。
- 移住者や移住予備軍の拡大を図るため、引き続きNPO法人与連携した「鹿角家」の取り組みによるネットワークづくりを推進する。
- 武蔵野大学からの調査研究活動の受入を拡大し、若者と地域住民との交流による地域活性化のほか、高等教育機関の「知」の活用を図る。

3 角ぐむ「鹿角」ブランド確立プロジェクト

- 市場性の高い「シンテッポウユリ」などの産地拡大を図るとともに、松館しぼり大根に続き「かつの牛」のG I登録を推進し、ブランド推進を図る。
- 「北海道・北東北の縄文遺跡群」の2021年の世界文化遺産登録に向けた取り組みを推進するとともに、世界に向けたPRとして、英国を代表する古代遺跡「ストーンヘンジ」の企画展に参加する。
- 寄附額が大きく増加しているふるさと鹿角応援寄附については、引き続きポータルサイトの拡充による露出機会の拡大と、市内事業者による返礼品の掘り起こしを促進し、特産品等のPRによる対外的なブランド力の獲得を進める。
- 国民体育大会冬季スキー競技会の歴史上初となる2年連続開催や、全日本学生スキー選手権大会とのダブル開催により、交流人口の拡大と冬期間の経済効果を創出するとともに、全国的なブランド力が定着しつつある「スキーと駅伝のまち」のさらなる知名度向上を図る。

4 子どもの笑顔きらめきプロジェクト

- 経済的、精神的負担により不妊及び不育治療に踏み切れない、または継続できない方の不安を解消するとともに、経済的負担を軽減するため、特定不妊治療にかかる助成金の上限を引き上げる。
- 妊娠・出産・育児期における母子の健康状態を把握し、健康づくりと育児支援を行う包括支援の一環として、新生児聴覚検査にかかる保護者の負担軽減を拡充する。
- 放課後児童クラブについては、花輪小学校区の「まちなか児童クラブ」を近隣施設へ移転し、環境の改善を図るとともに、十和田地区については児童クラブを新設し、全ての小学校区において全学年の受入態勢を整える。

5 みらい輝く人づくりプロジェクト

- 次世代規格に対応した校内通信ネットワークの整備により、ICTを基盤とした子どもたちの学びの環境を整えるとともに、児童生徒一人ひとりに対する端末整備を進め、Society 5.0時代に対応した情報活用能力の育成を図る。
- 花輪北小学校、平元小学校の統合校舎として活用する花輪第二中学校の大規模改造工事を進めるとともに、統廃合に対応した通学費支援やスクールバス運行などの通学対策を進める。

6 まちなか賑わい創出プロジェクト

- 「0円店舗改善」による個店の魅力向上や、商店街連携会議を通じた商店街の賑わい創出を図る。

- 鹿角花輪駅前の整備については、交通結節点としての機能向上はもとより、イベント広場にも対応した市の玄関口としての整備を、8月の花輪ばやし開催前までに完了させる。
- 多くの市民が中心市街地に集積した都市機能を享受できるよう、公共交通に不便を感じている地域への地域乗合交通の導入を進めるほか、令和元年度に実証運行を実施した八幡平地域の公共交通空白地域をカバーするデマンド交通の本格運行を開始する。
- 運転に不安のある方の移動手段を確保するため、運転免許証を返納した満65歳以上の方に対する路線バス回数券の購入助成について、年齢要件を撤廃する。

7 地域コミュニティ活力再生プロジェクト

- コミュニティ活動に積極的に取り組む人材を確保するため、地域づくりリーダー研修や人材育成プログラムを実施する。
- 集落支援員による地域の維持及び活性化に結びつける活動を継続するとともに、基礎的な活動に交付する自治会振興交付金や、自治会元気づくり応援補助金、自治会館建設事業補助金などによる支援を継続する。
- 一定のエリアでのコミュニティ生活圏としての課題を調査する県の取組に参加する地区の持続可能なコミュニティづくりに向けた取組を支援する。

8 健康生き生き長寿社会プロジェクト

- ロタウイルスワクチンの定期予防接種化に対応するとともに、感染症のまん延予防及び抵抗力の弱い乳幼児・高齢者の健康保持、重症化予防を図る。
- 介護予防については、住民主体型の介護予防事業であるシルバーリハビリ体操の普及に加え、市民サポーターによるフレイルチェックの取り組みと効果的に連携するとともに、介護予防拠点となる地域生き生きサロンや認知症カフェなどの拡大により地域ぐるみの介護予防体制を推進する。

Ⅲ 主要施策の推進

３６の施策のうち、重点プロジェクトに関係するものを除く事業内容は次のとおりである。

１ 林業の振興（１－１－４）

○ 経営管理が行われていない人工林について、所有者の意向確認を進めるとともに、林政アドバイザーを配置し森林施業の適正な管理・指導体制のもとで、経営管理権集積計画を策定し、持続的な林業の振興を図る。

２ 地域福祉の充実（２－１－１）

○ 福祉ニーズの多様化・複雑化などによる複合的な課題に対応するため、鹿角市社会福祉協議会へ相談支援包括化推進員を配置し、全世代に対応した包括的な相談支援体制を整える。

○ 判断能力が十分ではない方の権利と財産を守るため、中核機関の運営による成年後見制度の地域連携ネットワークを構築し、権利擁護が必要な人の発見、相談支援の強化を図る。

３ 障がい者福祉の充実（２－１－４）

○ 大湯ストーンサークル館を会場に、東京２０２０パラリンピックの採火式を開催し、障がい者スポーツの普及及び振興を図る機会を創出するほか、縄文の火を鹿角から東京へ届けることで、大会機運の醸成を図る。

４ 健康づくりの推進（２－２－１）

○ がん等重要な疾病の早期発見のため、受診率向上に向けた取り組みを進めるとともに、５１歳から６０歳の無料検診の対象に、胃がん、大腸がんのほか肺がんを加える。

５ 道路網の整備（３－１－２）

○ 計画的な舗装修繕による道路施設の長寿命化を図るため、一級市道の路面状況調査を実施する。

６ 生活排水処理の推進（３－２－２）

○ し尿処理場の改修を行うとともに、下水投入方式への変更に向けた機能診断を行う。

７ 循環型社会の推進（３－３－２）

○ リサイクル率の向上に向け、不燃系一般ごみの中間処理施設の整備を行う。

8 防災体制の充実（３－４－１）

- 災害時の行政機関の重要な通信手段を維持するため、デジタル式防災行政無線を整備する。
- 大規模自然災害に対して、人命の保護や財産等の被害の最小化と迅速な復旧復興を進めるための国土強靱化地域計画を策定する。
- 水害への備えを強化するため、洪水ハザードマップを更新する。

9 学校教育の充実（４－１－１）

- 教職員の多忙化防止と学校運営体制の強化を図るため、中学校へ部活動指導員を配置する。

10 生涯学習の推進（４－２－１）

- 市内児童生徒を対象としたわくわく土曜教室の中学生教室を八幡平市民センターに新設するほか、教員ＯＢなどによる地域未来塾の学習支援を冬休み中にも拡大するなど、地域住民や団体等の連携を強化しながら、子どもの学びや成長を支える地域学校協働活動を推進する。

11 スポーツの推進（４－２－２）

- 東京２０２０オリンピック聖火リレーやミニセレブレーション、オリンピックとの交流により、大会機運とスポーツに親しむ意識醸成を図る。

12 国際交流の推進（５－１－３）

- オリンピックを契機にショプロン市との交流の深化と地域の国際化を推進するため、鹿角市ホストタウン推進協議会の体制のもと、競技中継とステージイベントを同時開催する「コミュニティライブサイト」を開催するとともに、ショプロン市からの行政訪問団招致に合わせた青少年スポーツ交流と文化交流、小中学生によるハンガリー選手との交流・手紙応援を行う。